

件名	国登録有形文化財・市指定有形文化財の登録	問合せ	歴史文化課 ☎24-2411
----	----------------------	-----	----------------

内 容

新たに「大鴈丸家住宅主屋」・「富野家住宅主屋」・「同中門」・「旧料亭角田主屋」・「同脇門」の5件が国登録有形文化財に登録され、「中鴈丸家表門」が市の有形文化財に指定されました。これで国登録有形文化財の数は10件、市指定文化財の数は57件です。

国登録有形文化財

●大鴈丸家住宅主屋

上吉田上宿にある御師住宅の主屋です。主屋は平屋建切妻造平入鉄板葺で、西面して建ちます。明治前期の建築で、正面中央に式台玄関を設け、その奥に八畳、十畳の座敷が四部屋あり、うち一部屋は床・棚・付書院を備えるなど、富士講が宿泊した当時の様相を留めます。



●富野家住宅主屋・中門

上吉田中宿にある御師住宅の主屋と中門です。主屋は平屋建切妻造妻入鉄板葺で、東面して建ちます。座敷とともに北西に御神前を祀るなど御師住宅の平面をよく



残します。一間ごとに柱が入るなど古式な造りであり、18世紀までさかのぼる可能性もあります。中門は、簡素ながらも御師住宅の風格ある構えをつくる門です。

●旧料亭角田主屋・脇門

下吉田の月江寺参道に南西面する旧料亭の主屋と脇門です。昭和3年に料亭として建てられ、地場産業である織物の関係者でにぎわいました。

主屋は二階建入母屋造平入棧瓦葺で正面に唐破風造の玄関を付し、二階中央に軒唐破風に千鳥破風を重ね、垂木は扇垂木とし、座敷は出節の極太床柱、折上格天井など豪壮な造りで、欄間に梅の透彫を



入れて飾る脇門とともに料亭の華やかさを伝えます

市指定有形文化財

●中鴈丸家表門

中鴈丸家の所在地は上吉田中宿でしたが、令和4年に敷地内の開発が計画されたため、同年に解体保管し、令和5年に上吉田下宿の御師町お休み処・旧外川家住宅駐車場内に移築しました。



建築様式や残された墨書から、江戸時代末～明治時代初めに建てられたと考えられます。同じく御師の表門である市指定有形文化財「浅間坊表門」と比較すると装飾は少なく簡素なものですが、骨太で質実剛健な造りです。現在、上吉田の御師住宅には中鴈丸家表門と浅間坊表門の2棟しか表門が残っていないため、大変貴重な建造物です。